

JA新潟厚生連「教育研修体制」の概要

全職種・全従業員区分共通		研修種別										
研修対象区分	基本教育・共通研修	階層別研修	職能別研修	その他 ※必要に応じて実施								
管理職層	コンプライアンス研修 ・個人情報保護研修 ・ハラスメント対策 ・情報セキュリティ対策	医療安全研修・感染対策研修 厚生連オンラインカレッジ※	その他研修 接遇・メンタルヘルス等	日本農村医学会新潟地方会例会 日本農村医学会学術総会	内部研修	内部研修	外部研修・学会	各種eラーニング研修	院外研修・人事交流 スキルアップを目的とした	取得に係る講習 専門資格・認定資格等		
監督職層					外部研修						内部研修	外部研修
管理職層・監督職層以外の従業員					内部研修						内部研修	外部研修
					外部研修						外部研修	外部研修
内定者(次年度新採用者) ※入職前実施	・JA組織における厚生連の役割 ・JA新潟厚生連の事業理念 ・コンプライアンス、個人情報保護 他											

○※厚生連オンラインカレッジ(Kカレッジ)…厚生連職員専用eラーニング **詳細は下記参照**

○開催形式…集合研修/オンライン研修/eラーニング 等



K カレッジ

厚生連情報教育事業システム「厚生連オンラインカレッジ」



医療安全・
感染対策も
搭載済み

いつでも、どこでも、みんなで学べる



医療に特化した豊富な研修コンテンツを共同利用

厚生連独自コンテンツや講演アーカイブ掲載可能

相互交流・研鑽で全国の厚生連とつながりづくり

日本文化厚生農業協同組合連合会

厚生連医療を担う人づくり

新時代の協同組合 eラーニング研修システム開講

「厚生連オンラインカレッジ」(Kカレッジ)は、「JAグループ第4次人づくりビジョン運動」(第29回JA全国大会決議)に呼応する取り組みです。共通のプラットフォームを会員が共同利用する画期的なリモート・eラーニング型システムとして、厚生連職員の皆さんの教育研修に活用いただけます。

コロナ禍を経て、組織の教育研修はオンラインの仕組みを大胆に取り入れた効率的・効果的な受講を組み合わせて充実化を図るように変化しました。同時に、人事管理・研修担当者の方々が、企画・準備や受講管理の効率化を図ることにより、職員の評価や育成指導にお力を振り向けることが求められています。

Kカレッジを新時代の協同の研修システムとして、より多くの会員のみなさんに有効活用していただきますようお願い申し上げます。

Kカレッジ 4つのポイント



医療に特化した豊富な研修コンテンツを廉価で共同利用

全国規模での開発・利用により、豊富な講座を廉価で利用することができます。医療機関に特化した階層別研修コンテンツや医療職・事業者必修講習コンテンツを新規に搭載していきます。



厚生連独自コンテンツや講演アーカイブを掲載可能

厚生連のオリジナル研修動画のアップロードが利用可能です。厚生連独自コンテンツを掲載して、トップメッセージや講演・講義を全職員に周知することができます。



履修計画・実績管理を支援(受講モデル提示)

職員個別にID付与し、すべての職員・施設に対して、適時・統一・継続的に教育研修や方針徹底を図るための効率的な職員研修管理システムとして活用できます。職種別や階層別に受講モデルを提示し、履修計画・実績管理を支援します。



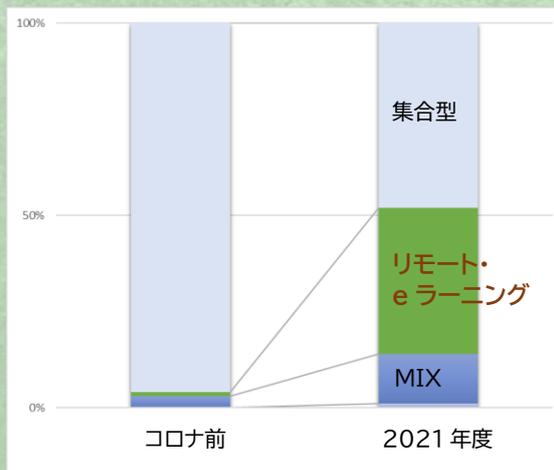
相互交流・研鑽で全国の利用者のつながりづくり

会員の要望やコンテンツの相互提供により配信講座の更新・追加を図るとともに、会員間・職員間の交流や共同研修(Kカレッジリモート集合研修含む)を進め、厚生連グループ独自の研修体系としての充実をめざしていきます。

様変わりする研修形態（厚生連アンケートから 2022年5月実施）

コロナ前は、集合形式での研修会が96%を占めていましたが、2021年度には集合形式は半減し、リモート・eラーニング形式やその併用による研修が半数超へと急増しています。

会員の皆さまからも、「病院・施設ごとにばらばらではなく、一気通貫した教育研修体系による経営方針の徹底が必須」「eラーニングを積極的に組み合わせて抜本的な時間の効率化を進めたい」「共通の研修科目を共同利用できれば研修準備やカリキュラムの企画を効率化できる」などのご意見をいただいています。



Kカレッジは 文化連とワカルバが連携して開発したシステムです



Kカレッジは、10万人超の研修実績のある(株)日本経営のeラーニングサービスWaculba（ワカルバ）をベース*に開発した厚生連向けの職員情報教育システムです。文化連の厚生連向けコンテンツと、(株)日本経営eラーニングサービス（Waculba）の両方がご利用いただけます。

さらに文化連が作成した日本専門医機構の必修研修項目やライブ講義配信などもご利用いただくことが可能です。

Kカレッジのコンテンツ（高瀬浩造名誉教授監修）…………… P3～4へ

(株)日本経営の医療マネジメント特化型階層別研修コンテンツ …… P5～6へ

ご利用方法・料金のしくみ、お問い合わせ先 …………… P7へ

医療職・事業者必修講習コンテンツ（高瀬浩造名誉教授監修）

安全管理編



医療における説明と患者の自己決定 [対象：医療従事者全般]	3 講・78 分
事故発生時の情報管理 [対象：医療従事者全般]	3 講・92 分
事故発生時の早期対応 [対象：医療従事者全般]	3 講・78 分
院内事故調査 [対象：医療従事者全般]	2 講・60 分
DNA R 設定患者の事故発生時対応 [対象：医療従事者全般]	3 講・48 分

感染対策編

医療施設に必要な感染対策 [対象：医療従事者全般]	1 講・35 分
感染症診察の基本と抗菌薬適正使用 [対象：医療従事者全般]	2 講・43 分

情報セキュリティ編



病院情報セキュリティ対策の基本 [対象：医療従事者全般]	2 講・85 分
------------------------------	----------

医療政策編 〈対象：病院管理者、病院事務および医師全般〉

医療のコストベネフィット	2 講・40 分
--------------	----------

医療概論編 〈対象：非医療系病院職員など〉

医学・医療の特徴 1 医学医療分野の概説	5 講・35 分
医学・医療の特徴 2 医療の激変とホスピタリティ	3 講・48 分
医学・医療の特徴 3 学問としての医学と実験・研究	2 講・33 分
医学・医療の特徴 4 医療の不確実性と死生観・研究	3 講・27 分
診断治療	4 講・97 分
治療学概要	3 講・60 分
医療の法的責任	3 講・60 分

医療倫理編

研究倫理審査 [対象：病院管理者および医師全般]	2 講・81 分
臨床倫理委員会 [対象：医療従事者全般]	2 講・46 分

今後も行動医学、クリニカルパス、診療情報のリアルワールドデータの活用などのコンテンツを配信予定です。また会員の要望や時宜にかなったコンテンツも企画してまいります。

病院情報管理編 〈対象：病院管理者および医療従事者全般〉

- 医療機関における個人情報保護 3 講・90 分
 診療情報とリアルワールドデータ 3 講・67 分

行動医学編

- 行動医学入門 3 講・53 分

ACP 編

- 医療におけるコミュニケーション～ACP について考える～ 4 講・37 分

講師紹介



たかせ こうぞう
高瀬 浩造 先生 (全体監修)

東京医科歯科大学名誉教授・小児科医・日本文化厚生連特任指導職
 大学副学長（情報管理担当）、医学部附属病院医療情報部教授（医療情報部長・材料部長）、大学院情報基盤部門長・ITセキュリティ部門長、大学院医療管理政策学（MMA）コース責任者を歴任。
 [その他の公職歴] 文部科学省大学設置・大学法人審議会審査会委員、中央教育審議会専門委員、外務省 ODA 技術参与、最高裁判所司法修習委員会委員、医療機関・弁護士会・裁判所協議会幹事、日本クリニカルバス学会理事



みやけ さとし
三宅 智 先生 (ACP 編)

茨城県厚生連 土浦協同病院 緩和ケアセンター長（緩和ケア科部長）
 東京医科歯科大学卒業後、大学および関連病院にて外科での臨床経験を積む。その後がんの基礎研究に従事し、現在は東京医科歯科大学医学部附属病院 腫瘍センター長、東京医科歯科大学 大学院歯学総合研究科 臨床腫瘍学分野 教授として緩和ケアをはじめ包括的ながん診療に取り組む。



なかむら いたる
中村 造 先生 (感染対策編)

東京医科大学病院 感染制御部・感染症科 准教授
 東京医科大学卒業、立川相互病院初期臨床研修医。2006 年東京都立墨東病院内科後期系研修医。2009 年東京医科大学病院感染制御部助教。2015 年同講師。2016 年同副部長。2018 年 Liverpool School of Tropical Medicine 留学。総合内科専門医・指導医、感染症専門医・指導医

文化連配信コンテンツ

協同組合・人づくり編

- 協同組合としての厚生連医療 1 講・25 分

文化連開催研究会アーカイブ配信

文化連の研究会等における外部講師等の講演や報告について、可能なものは開催後に一定期間視聴できるようにします。

- 厚生連医療経営を考える研究会など 予定

医療マネジメント特化型階層別研修コンテンツ（日本経営）



組織人材スキル [新入職員・一般職から]

1.働くとは	6 講・41 分
2.基準行動	10 講・63 分
3.接遇・ビジネスマナー①	7 講・41 分
4.接遇・ビジネスマナー②	4 講・22 分
5.コンプライアンス	5 講・40 分
6.ロジカルシンキング	7 講・31 分
7.フォロワーシップ	4 講・37 分
8.後輩の育成	5 講・50 分
9.行動を変える3ステップ	5 講・46 分
10.職場のコミュニケーション／部下編	6 講・57 分
11.職場のハラスメント対応／一般・指導職編	10 講・83 分

組織人材スキル [監督職から]

12.監督職のリーダーシップ	6 講・57 分
13.はじめての労務基礎知識	6 講・37 分
14.監督職から始める部下育成	7 講・50 分
15.問題解決	6 講・21 分
16.部下とのかかわり	6 講・32 分
17.コーチング	8 講・105 分

組織人材スキル [管理職から]

18.職場のコミュニケーション／上司編	6 講・48 分
19.職場のハラスメント対応／管理職編	11 講・107 分
20.組織が管理職に求める役割	8 講・105 分
21.管理職のパフォーマンス発揮を妨げる要因と対策	5 講・32 分
22.成果を出すチームづくり	9 講・66 分
23.リーダーの心構え	5 講・49 分
24.経営理念に基づいた目標の設定	5 講・49 分
25.管理者のための労務実務	6 講・48 分
26.成人発達理論から見る管理職のリーダーシップ	6 講・133 分
27.基礎からわかる人事評価	5 講・80 分
28.部下の成長を後押しするフィードバック面談	8 講・105 分

経営スキル [医療政策・報酬改定など]

29.医療政策ニュース [メディポリ TV]	1~2 週更新	10 分 / 1 本
30.2022 年度診療報酬改定解説 [メディポリ TV]	随時更新	60 分 / 1 本

経営スキル [病院経営]

- 31.病院経営と地域医療連携マネジメント…………… 24 講・356 分
- 32.病院経営講座入門編…………… 8 講・489 分
- 33.俯瞰的に理解する [病院経営講座] ……………35 講・1058 分
- 34.愛仁会グループにおける債権管理の取り組み…………… 5 講・122 分
- 35.患者トラブルを解決する技術…………… 13 講・156 分
- 36.情報セキュリティ [経営層] ……………4 講・45 分
- 37.情報セキュリティ [経営管理担当者] ……………6 講・53 分
- 38.情報セキュリティ [職員] ……………6 講・47 分
- 39.病院分析システム Libra について…………… 3 講・23 分
- 40.医療 DX と病院経営における DX -医療 DX の現状と課題- …………… 5 講・40 分

経営スキル [人事・労務・働き方改革など]

- 41.月刊労務ビタミンM……………毎月更新 60 分/1 本
- 42.医師の働き方改革ポイント解説……………2 講・83 分

経営スキル [医療事務]

- 43.医療事務入門コース…………… 23 講・336 分

経営スキル [介護政策]

- 44.介護政策ニュース ケアポリ TV……………1~2 週更新 5 分/1 本
- 45.聞き流し社保審…………… 随時更新 5 分/1 本

セミナー配信

- 46.過去のセミナー特選……………随時更新 60 分/1 本
- 47.過去のセミナー特選(介護版)……………随時更新 60 分/1 本
- 48.ナスレコ研究会 (看護記録研究) ……………随時更新 200 分/1 本

Waculba について

- 49.Waculba について……………随時更新 1 分/1 本
- 50.Waculba ゼミ……………毎月更新 5 分/1 本

ちょっと一息

- 51.Rio の Waculba ラジオ…………… 4 講・40 分
- 52.仕事の極意……………随時更新 10 分/1 本
- 53.困った職員の育成法…………… 随時更新 5 分/1 本
- 54.役職者として考えるヒント…………… 随時更新 5 分/1 本

リリース予定 医師事務作業補助者 32 時間研修コース、収益改善コース、コスト適正化コース、病院建替えコース、財務会計コース、医療マーケティングコース等

「人づくり」を支える情報教育事業として、コンテンツを充実していきます！

広がる K カレッジの活用

病院機能評価機構（一般病院〈3rdG: Ver.3.0〉）の教育・研修で定期開催が求められる項目に対応する研修として、活用を図ります。

日本専門医機構の共通必修講習（施設ごとの申請）の単位付与に必要な研修の企画支援、講師派遣等を行います。



厚生連個別の作成による独自研修コンテンツ

利用厚生連の内部のみでアクセスできるコンテンツとして、厚生連の「役員・院長・幹部職員等からの配信講義」（理念・ビジョン、事業計画、病院運営方針等）や独自の研修コンテンツを掲載可能です。公開可能なコンテンツについては、利用厚生連間の相互交流として配信をめざしていきます。

文化連開催研究会等のアーカイブ配信コンテンツ

文化連の研究会等における外部講師等の講演や報告について、可能なものは開催後に一定期間視聴できるようにします。また文化連からの配信コンテンツとして、「協同組合としての厚生連医療」、「共同購買による費用圧縮と適正管理」等を作成しリリースしていく予定です。

受講開始までの手続き

※ 厚生連単位でお申し込み下さい。



1. 利用申し込み

申し込みフォームに必要事項を記入

2. 利用ID登録

利用者のメールアドレスを登録

3. 受講開始

登録終了後、受講を開始できます

利用にあたっての料金制度

個人ID 利用料(月額料金)

+

システム管理料(月額料金)

+

サーバー利用料
(オプション・月額料金)

+

開発・導入費用(初回料金)

※厚生連独自で作成した研修コンテンツをアップロードするためのサーバー利用料金

- ・個人IDは50人単位でのお申し込みをお願いしております。(100人以下のご利用では10人単位です)
- ・必要に応じて、お見積を提示しますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ・事務手続き



k-college@bunkaren.or.jp

日本文化厚生連 総務企画部情報教育課 TEL: 03-3370-2541

東京都渋谷区代々木 2-5-5 新宿農協会館

文化連  日本文化厚生農業協同組合連合会
農民の暮らしと健康を守る協同組合